

第2回クラシフィケーション研修会が開催されました

先日12月16日に第2回クラシフィケーション研修会が当院および和歌山県立医科大学リハビリテーション・スポーツ・温泉医学研究所、同みらい医療推進センターげんき開発研究所主催で開催されました。

今回の第2回では、JWBF（日本車いすバスケットボール連盟）クラス分け認定委員長の安田景子先生、日本障害者カヌー協会クラス分け委員長の川崎真嗣先生にそれぞれの競技のクラス分けについて御講義頂きました。

40名程の方が受講されました。参加者の内訳は理学療法士をはじめ、選手、トレーナー、報道関連、学生、研究者の方など今回も多く職種の方が参加されました。当院からも10名近くのスタッフが参加し、パラスポーツ、クラシフィケーションの知見を深めることができました。

車いすバスケの講義では実際のクラス分けの手順や点数ごとの運動範囲などを、スライドを用いてわかりやすく学ぶことができました。さらに、選手それぞれの点数だけでなく、チームの合計点数を考え構成しなければいけないこと、それにより競技の公平性が保たれていることを知りました。今まで、会場やテレビなどで試合を見学したこともありましたが、今回実際のクラス分けの手順について知ることが出来、今後、当院が行っていくパラスポーツ支援の励みとなると感じました。

パラカヌーの講義では、カヌー競技の中にカヤックとヴァーの2種類あることを知りました。両側で漕ぐカヤック、片側のみで漕ぐヴァーでは求められる身体機能が違うため、クラス分けにおいても評価する機能が異なることを学びました。さらに、評価にはメディカル部分、テクニカル部分の2種類があり、それぞれで見ることで、訓練室と競技中の動きに違いがないかなど、実際のクラス分けの手順に沿って学ぶことができました。

今回車いすバスケ、パラカヌー競技のクラス分けについて講義を聞き、各競技特有の評価方法があり医療的な知識だけでなく、競技に応じた専門的な知識が必要であることを学びました。今後も研修会が予定されているため引き続き学習するとともに、実際の競技にも触れて体験して知識、経験を深めていきたいと考えます。

次回は3月ごろに第3回クラシフィケーション研修会を予定しています。決まり次第当院ホームページに掲載いたします。ご参加お待ちしております。

リハビリテーション科 谷口 國松 宮園 寺司 指宿